

県 央 秋田市

FAX 018-855-223-2280
☎ 018-855-223-2303

FAX 018-823-2080
☎ 018-888-1840

FAX 0184-243-124
☎ 0184-243-122

地域情報

潟上、ふるさと納税倍増

前年同期比 21年度 返礼品の充実奏功

2021年度の潟上市へのふるさと納税寄付額が631万円に達し、前年同期(3009万円)から倍増した。市は「他自治体に比べるとまだ額は少ない。新たな返礼品の開発などに力を入れる」としている。

市のまとめによると、昨年4月(12月は前年比で微増ペー)以上伸びたが、駆け込みが増えた年末の申請分が今月の数字に反映され、一気に3千万円以上伸びた。

寄付額増加の要因について、国の規定範囲内で返礼品の内容を充実させたことなどが奏功したとみる。人気の返礼品は県産あきたこまちで、寄付者の約半数が選んだ。次いで市内事業者「秋田味商」の商品「比内地鶏おこわ」が人気という。

滑りの技術を採点方式で競う基礎スキーで由利本荘市の消防士、長沼将馬さん(32)が、指導者として国内トップクラスとなる全日本スキー連盟(SAJ)の「SAJデモンストレーター」に認定され、今季から活動している。デモはスキー教師を本業とする人が大半で、公務員が選ばれるのは珍しいという。大会出場や指導を仕事と両立させるハードな日々だが、「スキーの楽しさや奥深さを伝えていきたい」と意気込んでいる。

由利本荘の消防士

長沼将馬さん

スキーの楽しさ

長沼さんは同市東由利出身。8歳でスキーを始め、湯沢商工高校(現湯沢翔北高校)ではアルペン種目に励んだ。消防士採用を機に、雪山から1年ほど遠ざかつたが、基礎スキー関係者に誘われて新たな道に挑戦し始めた。

旗門のあるコースを滑走してタイムを競うアルペニン競技に対し、基礎スキーは「いかにうまく滑るか」が評価の対象。急斜面や不整地などさまざまな状況下で滑り、ターンの正確さやスピード、安定感、運動の合理性などが審査される。

その基礎スキーで、デモはスキー指導者を指導する役職。任期は2年で、認定されるには基礎スキーの全国大会である全日本技術選

長沼さん

切れのある滑りを見せる

国内トップクラス指導者に



デモンスト레이ターとして切磋琢磨したいと話す長沼さん(左)と鈴木さん

手権と、2年に一度のデモ選考会で上位に入る必要がある。長沼さんは昨年3月、新潟県で行われた技術選手権で県勢最高の27位に入り、SAJデモ認定に至った。

SAJ専門委員の江橋武さん(大仙市)によると、県内のSAJデモ経験者は5人。SAJデモよりさらに上位の役職であるナショナルデモの経験者が4人。男子の場合、全国で各20人ほどしか選ばれない狭き門だ。

長沼さんは由利本荘市消

防署由利分署に所属。1日おきの24時間勤務が基本で、練習や指導の時間は限られるため、江橋さんは「デモはプロ的な立場でスキーモをする人がほとんど。公務員で選ばれるのは快挙」とたたえる。

長沼さんが「目標となる存在」というのが、ナシヨ

ナルアモに今季認定された鈴木洋律さん(34)は自営業、東成瀬村など、昨年までナショナルデモを4期務めたベテラン兼子穂さん(41)、福島県在住、湯沢市(旧皆瀬村)出身だ。

長沼さんは、来シーズンまでのデモ任期中、指導者層や若手への技術指導に励みつつ、ジュニア世代の指導育成にも積極的に関わりたいと考え。「仕事を両立させながら、より高いところを目指したい」とも語り、ナショナルデモ認定への挑戦も見据える。

SAJ専門委員の江橋さ

んは「(鈴木さんと共に)良き指導者、競技者として秋田のスキーを引っ張っていつほしい」と期待を込めた。

(遠藤卓之)

う基礎スキーで由利本荘市の消防士、長沼将馬さん(32)が、指導者として国内トップクラスとなる全日本スキー連盟(SAJ)の「SAJデモンストレーター」に認定され、今季から活動している。デモはスキー教師を本業とする人が大半で、公務員が選ばれるのは珍しいという。大会出場や指導を仕事と両立させるハードな日々だが、「スキーの楽しさや奥深さを伝えていきたい」と意気込んでいる。

長沼さんは同市東由利出身。8歳でスキーを始め、湯沢商工高校(現湯沢翔北高校)ではアルペン種目に励んだ。消防士採用を機に、雪山から1年ほど遠ざかつたが、基礎スキー関係者に誘われて新たな道に挑戦し始めた。

旗門のあるコースを滑走してタイムを競うアルペニン競技に対し、基礎スキーは「いかにうまく滑るか」が評価の対象。急斜面や不整地などさまざまな状況下で滑り、ターンの正確さやスピード、安定感、運動の合理性などが審査される。

その基礎スキーで、デモはスキー指導者を指導する役職。任期は2年で、認定されるには基礎スキーの全国大会である全日本技術選

長沼さんは、来シーズンまでのデモ任期中、指導者層や若手への技術指導に励みつつ、ジュニア世代の指導育成にも積極的に関わりたいと考え。「仕事を両立させながら、より高いところを目指したい」とも語り、ナショナルデモ認定への挑戦も見据える。

SAJ専門委員の江橋さん

んは「(鈴木さんと共に)良き指導者、競技者として秋田のスキーを引っ張っていつほしい」と期待を込めた。

(遠藤卓之)

う基礎スキーで由利本荘市の消防士、長沼将馬さん(32)が、指導者として国内トップクラスとなる全日本スキー連盟(SAJ)の「SAJデモンストレーター」に認定され、今季から活動している。デモはスキー教師を本業とする人が大半で、公務員が選ばれるのは珍しいという。大会出場や指導を仕事と両立させるハードな日々だが、「スキーの楽しさや奥深さを伝えていきたい」と意気込んでいる。

長沼さんは同市東由利出身。8歳でスキーを始め、湯沢商工高校(現湯沢翔北高校)ではアルペン種目に励んだ。消防士採用を機に、雪山から1年ほど遠ざかつたが、基礎スキー関係者に誘われて新たな道に挑戦し始めた。

旗門のあるコースを滑走してタイムを競うアルペニン競技に対し、基礎スキーは「いかにうまく滑るか」が評価の対象。急斜面や不整地などさまざまな状況下で滑り、ターンの正確さやスピード、安定感、運動の合理性などが審査される。

その基礎スキーで、デモはスキー指導者を指導する役職。任期は2年で、認定されるには基礎スキーの全国大会である全日本技術選